

2022WiN-Global年次大会 実施報告書

29th WiN Global Annual Conference

Evolution of Decommissioning & Reconstruction
~ 11 Years after Fukushima Accident ~

2022 ● JAPAN



29th Annual Conference

Venue _____
Tokyo Portcity Takeshiba

Dates _____
23-26 May 2022 Tokyo, Japan

Hybrid Style

WiN-Japan

2022年6月14日

0. WiNとは



WiN-Global

WiN(Women in Nuclear)は、原子力・放射線利用の分野で働く女性の国際NGOです。

WiN-Globalは、1993年ヨーロッパで誕生し、国、地域、国際機関等に129の支部があり、世界中に約35,000名の会員を擁しています。

女性と次世代層を主な対象として、原子力や放射線に関する理解活動を行うほか、近年では、国際会議における専門家集団としての提言、SNSを活用した情報発信等を通じて、気候変動やジェンダーバランスなどの活動にも力を入れています。

<https://win-global.org/>

WiN-Japan

Women in Nuclear



WiN-Japanは、WiN-Globalの支部として2000年に設立されました。

会員は約200名を数え、総会で選出された役員による理事会を設置し、WiN-Globalと同じ目的のために活動しています。

特に、WiN-Japanと立地地域の女性たちとの交流会は、直接対話による草の根活動として、WiN-Japanが設立当初から取り組んでいる活動です。

近年は、学生との交流に力を入れ、原子力業界への人材確保や育成にも貢献しています。

<http://www.win-japan.org/>



1. 実施概要（全体概要）

- 会期：2022年5月23日(月)～26日(木)
- 場所：東京ポートシティ竹芝
東京プリンスホテル
福島第一原子力発電所、東日本大震災・原子力災害伝承館、Jヴィレッジ
- テーマ：Evolution of Decommissioning & Reconstruction
～11 Years after Fukushima Accident～
- 方法：ハイブリッド形式、ペーパーレス
- 言語：英語（会場内のみ日本語への同時通訳あり）
- 参加者：310名 会場184名（海外42名、国内142名）
オンライン126名（海外109名、国内17名）
- 参加国：40ヶ国
イギリス、フランス、スイス、オーストリア、ドイツ、スペイン、スウェーデン、ウクライナ、スロバキア、アメリカ、カナダ、アルゼンチン、オーストラリア、アラブ首長国連邦、エジプト、韓国、日本、中国、台湾、モンゴル、ブラジル、メキシコ、チリ、オランダ、ブルガリア、ロシア、ウルグアイ、チュニジア、タジキスタン、ボリビア、コスタリカ、パキスタン、コンゴ共和国、南アフリカ、カザフスタン、モロッコ、ニカラグア、ナイジェリア、ウズベキスタン、マレーシア

1. 実施概要（体制）

- 主催：WiN-Japan
- 共催：WiN-Global
- 後援：内閣府原子力委員会、経済産業省資源エネルギー庁、日本原子力学会、
日本女性科学者の会
- 協賛：30社
- WiN-Japan実施体制：

実行委員会

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ●小林容子（科学技術振興機構） | ●小椋千花子（東芝エネルギーシステムズ） |
| ●小川順子（双映） | ●布目礼子（原子力環境整備促進・資金管理センター） |
| ●石橋すおみ（日本原子力産業協会） | ●江崎久美子（原子力発電環境整備機構） |
| ●河田朱実（電源地域振興センター） | ●佐賀井美都（電力中央研究所） |
| ●高木利恵子（エネルギー広報企画舎） | ●前田由起子（九州電力送配電） |
| ●夏井容子（原子力安全推進協会） | ●小向夕紀（東芝エネルギーシステムズ） |
| ●串間有紀子（日立GEニュークリア・エナジー） | ●斎藤海希（電力中央研究所） |

プログラム委員会

- 鵜飼光子（北海道大学）
- 岡田往子（東京都市大学）
- 藤田玲子（日本原子力学会）
- 小林容子（科学技術振興機構）

大会運営事務局

- アイエスエス

1. 実施概要 (プログラム)

	May 23 (Mon.)	May 24 (Tue.)	May 25 (Wed.)	May 26 (Thu.)				
	Meeting	Session	Session	Technical Visit				
9:00		9:00-10:00 Opening Session						
10:00		Coffee break			9:00-10:15 Panel Session 1			
11:00		10:30-12:30 General Assembly			Coffee break	Technical Tours		
12:00		Lunch			10:45-12:00 Panel Session 2			
13:00		13:00-15:00 WiN-Global Executive & Board Meeting			Lunch		e-Poster	
14:00		14:00-15:00 WiN-Japan General Assembly			13:30-14:30 Communication Meeting			13:00-14:15 Panel Session 3
15:00					14:30-15:00 Photo			WiN Global Awards Poster Awards Flag Passing Ceremony Closing Remarks
16:00		15:45-21:00 Culture Tours			Coffee break			
17:00					15:30-17:00 Fukushima Session			16:00-20:00 Tokyo →Fukushima
18:00								
19:00		19:00-21:00 Gala Dinner						
				9:00-16:00				
				16:00-20:00 Fukushima →Tokyo				

2. 実施内容

(1) Opening Session

【登壇者】

- **Dominique Mouillot**(WiN-Global会長)
- **小林容子**(WiN-Japan大会実行委員長)
- **稲田朋美**(国会議員)
- **湯本啓市**(経済産業省 大臣官房 審議官)
- **新井史朗**(日本原子力産業協会 理事長)
- **Rafael Grossi**(IAEA事務局長)
- **Pam Cowan**(Westinghouse president of Americas Operating Plant Services)



【主なメッセージ】

- ✓ WiNは専門家集団として、原子力の様々な分野でプレゼンスを示すことが必要(ムイヨ会長)
- ✓ 女性の活躍を強力に進めることで日本の風景を変える、そして社会変革を目指す(稲田先生)
- ✓ 日本の原子力産業における重要な課題は女性研究者の育成と参加 (湯本審議官)
- ✓ 我々が気候変動対策に原子力を活用していかならば、原子力産業で優秀な女性が活躍し、多くの女子学生が自分の仕事として原子力を選択する状況を作らなければならない(新井理事長)
- ✓ 女性の問題は人材・人権の問題だけではない、人類の才能の半分を失っている、女性は意思決定の場に必ずいなければならない、今の決断が未来にかかっている(グロッシ事務局長)

2. 実施内容

(2) Fukushima Session

福島の現状と課題

【登壇者】

- **山口彰**(日本原子力学会会長)
- **田南達也**(東京電力ホールディングス 執行役員
福島第一廃炉推進カンパニーバイスプレジデント)
- **岡本孝司**(日本原子力研究開発機構 廃炉環境
国際共同研究センター長)

【内容】

- ✓ 田南氏より1F廃炉の現状、岡本氏より1F廃炉研究開発の最新情報を講演した後、山口氏の進行で廃炉と復興について討論
- ✓ 地域が現在の逆境を発展のチャンスと捉えてくれば有り難い。地域経済の復興を支援していく
- ✓ 事故前よりさらにパブリック・アクセプタンスが重要になっている。現場で得られた情報を積極的に公開し、透明性を確保していく
- ✓ 東京電力は「安全文化」「技術力」「対話力」が欠けていたと分析。
安全文化は自らの意識的な問いかけによってはじめてもたらすことができる
- ✓ 世界の原子力の持続的発展のために日本の強固な技術基盤をどう活用するか
等、福島事故を糧とした日本の貢献について議論



2. 実施内容

(3) Communications and Social License

原子力のコミュニケーション戦略

【登壇者】

- **Melina Belinco**(Vice President, WiN-Global)
- **Eunok Han**(Expert member, board member, Professor, Dept. of Education & Research, Korea Academy of Nuclear Safety)
- **Rebecca Salvadore**(Director, Organizational Performance & Regulatory Affairs, Peach Bottom Atomic Power Station, Constellation Energy Company)
- **Verónica Garea**(Director, Board of Directors, INVAP SE)
- **Raquel Heredia**(Training Manager, World Nuclear University)

【内容】

- ✓ 社会との理解のギャップを埋めるためには、包括視点を含んだパブリック・ナラティブへの変換が必要で、そのために女性専門家が重要な役割を担っている
- ✓ 視覚に訴えるツールやインクルーシブな（社会の誰にでも理解できるような）スタイルを活用したコミュニケーションの重要性が指摘
- ✓ 「原子力というだけで怖いと感じる人にどのように働きかければよいか」との会場からの質問に対し、Han Eunok氏が「事実を冷静に伝えることが大事だが、淡々としすぎず、そこに自分の気持ちを乗せることが大事」と回答



2. 実施内容

(4) Panel Session 1

世界で進む廃止措置の現状と課題

【登壇者】

- 柳原敏(福井大学特命教授)
- Estelle Desroches (CEO, Cyclife, EDF)
- Carla Carmicha (Vice President of Nuclear Decommissioning Strategies, OPG)
- 山内豊明 (日本原子力発電 常務執行役員 廃止措置プロジェクト推進室長)
- Margaret Mervin (Project Manager, Waste & Decommissioning SNC-Lavalin)

【内容】

- ✓ 日本、フランス、カナダの廃止措置の現状および原電、EDF、SNC-Lavalin 各社の取り組みが紹介された後、柳原氏の進行で、廃止措置に伴い排出される廃棄物の取り扱いをテーマに討論
- ✓ 会場からは、廃棄物のリサイクル率やリサイクル・リユース後の使用用途などについて質問



2. 実施内容

(5) Panel Session 2

カーボンニュートラルに向けた原子力の役割

【登壇者】

- **Adoracion Arnaldo Gonzalez**(Women in Nuclear Innovation Leader)
- **下郡 けい**(日本エネルギー経済研究所 戦略研究ユニット国際情勢分析主任研究員)
- **Susan Korn**(Vice President, Nuclear Project Management and Decommissioning, Constellation)
- **Sama Bilbao y León**(Director General, World Nuclear Association)
- **Larissa Pinheiro**(Innovation Researcher, Data Scientist and PhD candidate in Nuclear Engineering, Program of Nuclear Engineering)
- **Andrea Bachrata**(WiN Global Young Generation lead, Research Engineer at CEA)
- **Princess Mthombeni** (WiN Global Excellence Award Winner, Africa4Nuclear)

【内容】

- ✓ 各国、各組織における原子力を最大限発揮するための取り組みについて紹介
- ✓ 世界中で原子力が再評価される中、気候変動対策に貢献するための原子力の役割を共有



2. 実施内容

(6) Panel Session 3

原子力分野におけるジェンダーバランス

【登壇者】

- **Gabriele Voigt**(Director, r.e.m. Radiation Environment Management Consulting)
- **中西友子**(原子力委員, 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授)
- **Callum Thomas**(CEO, Thomas Thor Associates)
- **Shaukat Abdulrazak**(Director of the Division for Africa Technical Cooperation Department, IAEA)
- **Adriana Serquis**(President, Argentinean National Atomic Energy Commission)
- **Soheir Korraa**(Professor, Radiation Health Research, National Centre for Radiation Research and Technology - Egyptian Atomic Energy Authority)

【内容】

- ✓ 各地域、国ないし組織で行われている女性活躍推進のための取り組みを紹介
- ✓ 会場からの質問に対し、IAEAのマリー・キュリー・フェロースhipやWorld Nuclear University(WNU)等、国際研修プログラムを紹介
- ✓ 登壇者からは若い女性参加者に向けた激励のメッセージが送られた



2. 実施内容（詳細）

□ Shaukat Abdulrazak

IAEAが2020年から開始したマリー・キュリー・フェローシップ（原子力分野の女性人材を育成するためのプログラム）やIAEAがWiNアフリカと協働しながらどのようにアフリカの女性の社会進出を支援しているかを紹介。

□ 中西友子

日本における女性研究者の数は依然として低い。女性に原子力に興味をもってもらうには、効果的で影響力のある、また、多くの人を惹きつける研究結果を紹介することにより、放射線が医学や科学に欠かせないものであることを伝えていくべき。

□ Adriana Serquis

アルゼンチン原子力学会がラテンアメリカ・カリブ地域諸国の原子力平和利用を目的とした技術的・経済的協力合意文書（ARCAL）に基づいて、WiNアルゼンチンやWiN ARCALと共に実施しているジェンダー・バランスの活動を紹介。

□ Soheir Korraa

アフリカにおいて女性の社会進出を困難にしている要素は、貧困、伝統的価値観、環境の未整備等である。地球温暖化は作物の不作をもたらし、一家の主人である男性から女性が不当な扱いを受ける元になる。人生には多くの障害があるが、女性は自分を責めるのではなく立ち上がってほしい。

□ Callum Thomas

ジェンダー・バランスの問題は必要性と対応が噛み合っていないため困難になっている。問題の大きさにも関わらず解決はほぼ自主的な運動に任されていること、組織のトップと採用レベルに意識のズレがあること、また意志や計画と裏腹に時間や予算が限られることがその例である。

□ ディスカッション

モデレータのGabriele Voigt氏より、若い女性が日本で受けられるキャリアアップのための研修について質問があり、中西氏がキャリアに必要な国家資格を取得するためのコースを紹介。Gabriele Voigt氏もWorld Nuclear Universityのコースなどを紹介した。

国際経験を得にくい日本の女性がどのようにキャリアを積むべきかという会場からの質問に対して、Shaukat Abdulrazak氏がIAEAのマリー・キュリー・フェローシップ等に参加して経験を積むことを勧めた。

最後にGabriele Voigt氏より、会場にいる若い女性達に向け激励のメッセージを送り終了。

2. 実施内容

(7) Mentoring WS

【概要】

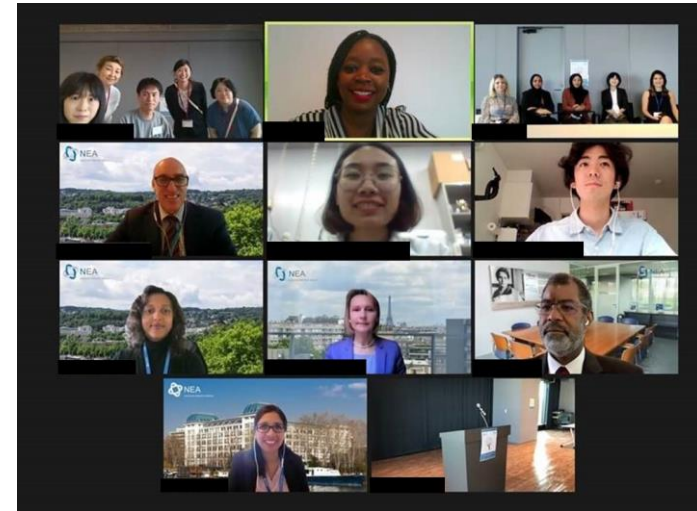
OECD/NEAとの共催。原子力・放射線分野で活躍するグローバルリーダー（メンター）と、原子力を学ぶ学生や原子力に従事する若手専門家（メンティー）による直接対話を通じて、次世代を担う学生や若手を励まし、支援し、関係を維持することを目的とするプログラム

【メンター】

- **Tatiana Ivanova** (Head of Division of Nuclear Science and Education, OECD/NEA)
- **羽田由美子**(経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長)

【内容】

- ✓ 東大、東工大、大阪産業大学、富山高専などから学生が参加
- ✓ 学生グループと若手専門家グループに分かれ、彼らが抱える様々な疑問・質問をメンターに直接投げかけて意見交換
- ✓ 国際機関で働くためにはどのような専門性を持っているべきか、どの国で働くのがよいか、修士で社会に出るべきかドクターまでとるべきか、自分の希望するキャリアと家族の希望とのギャップ、STEM教育は重要か、理科離れについてどう考えるか、原子力に対する誤解などの質問を元に対話
- ✓ Magwood氏(OECD/NEA)も議論に加わり異なる視座でのアドバイスも
- ✓ 参加者からは、今後の進路やキャリアを考える上で有意義だったと高評価



2. 実施内容（参考）

Mentoring WS 参加者の声

【国立富山高等専門学校、会場参加】

こういったグローバルなイベントには初めて参加したので、正直とても緊張しました。メンターの返答の言葉一つ一つが、自分の将来を考えるきっかけとなり、参考になる意見ばかりでした。そして終始、自分のやりたいことに向けて積極的にアクションを起こし、新しいことにも恐れず自信を持った皆さんが、私にはとてもかっこよく見えていました。短い時間でしたが、わざわざ東京まで来た100倍以上有意義なものであったと感じています。また、今まで知らなかった世界を体験できたのは、私にとって貴重なものとなると思います。

【東京大学大学院、オンライン参加】

セッション終了後、海外から参加されていた方の名前を検索すると、すごい方々ばかりで恐縮しています。改めて参加させていただきありがとうございました。少し自分の準備不足を悔やんでいますが、セッション自体は非常に学びがありました。新たな気づきもありました。できるだけたくさん議論をして、学生のうちに色々挑戦・失敗をしたいと思っているので、このような機会があればまた参加したいです。福島廃炉を行う企業に就職を考えているので、何かあれば相談したいと思います。

OECD/NEAのウェブサイトで紹介



Mentoring students and young professionals in STEM

Published date: 9 June 2022

Director-General Education News brief



NEA Director-General William D. Magwood, IV, and international mentors Yumiko Hata and Tatiana Ivanova engage with young professionals and university students during the hybrid 29th WIN Global Annual Conference in Tokyo, Japan, on 24 May 2022

In partnership with Women in Nuclear (WIN) Global, the NEA co-organised a mentoring session for young professionals attending the 29th WIN Global Annual Conference in Tokyo, Japan. Hosted on 24 May 2022, the session also welcomed students from four universities in Japan: Tokyo Institute of Technology University, Toyama National College of Technology, Osaka Sangyo University and Tokyo University.

The mentees represented an array of nationalities, including Argentina, Japan, Thailand and the United Arab Emirates. In this hybrid event, the young professionals and students heard from two highly accomplished females in science, technology, engineering and mathematics (STEM): Yumiko Hata, Director of Resource Efficiency and Circular Economy Division of the Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry, who previously served as Director for international issues and waste management of Fukushima Daiichi at the Nuclear Accident Response Office, and Tatiana Ivanova, Head of Division of Nuclear Science and Education at the NEA, with over 30 years of experience in nuclear research and safety assessment. The mentors provided inspiring insights from their own experiences to meet the specific interests of mentees who range from considering the nuclear field to those already part of its global cohort.

2. 実施内容

(8) WiN-Global Award

WiNでは、毎年、原子力コミュニケーションにおいて顕著な業績をあげた者や、WiN-Globalおよび所属する支部への貢献が顕著な会員に賞を授与。
今年以下3名が受賞し、本大会で授与式を実施。

2022 WiN Global Excellence Award

Eunok Han
(韓国)



2022 WiN Global Nuclear Future Award

Estefania Orcellet
(アルゼンチン)



2022 WIN Global Honorary Award

Loretta Browne
(イギリス)



2. 実施内容

(9) e-Poster Award

本大会では、プログラム委員による査読を経た全54件のポスターが提出された。会期中の参加者投票などにより、以下3名が優秀賞を受賞

Excellent Award

Huda Al Kaabi(UAE)

「福島事故後のバラカ原子力発電所の機能強化およびUAE原子力規制当局の対応について」



WiN-Japan Award

Tania Hernández Jiménez (メキシコ)

「 ^{225}Ac -rHDLナノ粒子：SR-BIタンパク質を過剰発現している腫瘍に対する標的 α 粒子療法のための薬剤の可能性」



Next Generation Award

平田美貴 (WiN-Japan会員, 千代田テクノル)

「2011年以降の福島県民へのガラスバッジ提供と個人線量のモニタリングについて」



2. 実施内容

(10) Gala dinner@東京プリンスホテル

- ・ダイヤモンドスポンサー（電気事業連合会）ご挨拶
- ・山口先生（日本原子力学会会長）ご発声による乾杯
- ・初代WiN-Japan会長 小川順子による日本舞踊
- ・中西先生（原子力委員）へのメッセージ
- ・ウクライナへの支援と寄付の呼びかけ
- ・WiNウクライナ会長によるお礼



2. 実施内容

(11) Technical Tour

【目的】 1F廃炉と福島復興の現状を知る

【参加者】 44名


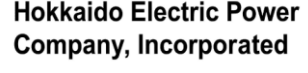



















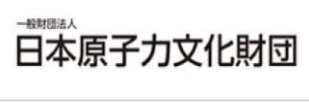





【視察先】

- ①福島第一原子力発電所
- ②東京電力廃炉資料館
- ③東日本大震災・原子力災害伝承館
- ④ Jヴィレッジ
- ⑤浪江町請戸小学校など震災遺構
- ⑥大熊町大河原地区など特定復興再生拠点地域



3. スポンサー関連

WiN Japan Sponsor

Diamond	 FEPC The Federation of Electric Power Companies of Japan.	 Hokkaido Electric Power Company, Incorporated	 Tohoku Electric Power Co., Inc.	 TEPCO Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc.	 CHUBU Electric Power
	 Hokuriku Electric Power Company	 Kansai Electric Power	 Energia THE CHUGOKU ELECTRIC POWER CO., INC.	 SHIKOKU ELECTRIC POWER CO., INC.	 KYUSHU ELECTRIC POWER CO., INC.
Gold	 一般社団法人 JAIF 日本原子力産業協会 JAPAN ATOMIC INDUSTRIAL FORUM, INC.	 HITACHI			
Silver	 SNC-LAVALIN	 TOSHIBA Toshiba Energy Systems & Solutions Corporation	 JEMA	 MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES MISSION NET ZERO	 IHI Realize your dreams
Bronze	 株式会社 原子力安全システム研究所 Institute of Nuclear Safety System, Incorporated	 CCNS Centre for Canadian Nuclear Sustainability	 RI CRIEPI Central Research Institute of Electric Power Industry	 The Japan Atomic Power Company	 一般財団法人 日本原子力文化財団
	 日本原燃	 TECHNOL CHUYODA TECHNOLOGICAL CORPORATION	 FE Fuji Electric Innovating Energy Technology	 MITSUBISHI ELECTRIC Changes for the Better	 NUMO 原子力発電環境整備機構

WiN Global Sponsor

Honorary Sponsor	Excellence Sponsor	Nuclear Future Sponsor
		

3. スポンサー関連

- ✓ 大会Webサイトへの貴社名・ロゴ掲載
- ✓ SNSへの投稿
- ✓ メイン会場スクリーン等での貴社名、ロゴ掲載
- ✓ ブース出展（ダイヤモンド、ゴールド、シルバーのみ）
- ✓ Coffee breakおよびLunch timeにおける提供映像放映（ダイヤモンド、ゴールドのみ）
- ✓ Dinner会場での貴社名・ロゴ掲載（ダイヤモンドのみ）


WiN-Japan
 5月3日

第29回WiN-Global年次大会が5月23～26日、日本で開催されます。
 東芝エネルギーシステムズ株式会社は本大会のシルバースポンサーです。
<https://www.global.toshiba/ww/company/energy.html>



GLOBALTOSHIBA
TOSHIBA ENERGY SYSTEMS & SOLUTIONS CORPORATION
 This page partially uses JavaScript. This page may not operate normally ...



4. 参加者の声

- これまでもWiNの存在は知っていたが、世界の女性達の横断的な連携がこんなにしっかりと行われていることに驚いた。WiNのネットワークや活動の意義を国内原子力業界で広く共有すべき
- 全体を通じて原子力産業をポジティブにとらえている印象。登壇者はいきいきと原子力産業の将来を語っており、日本での捉え方と大きな差を感じた
- セッションはもちろんだが個々の交流が印象に残った。海外からの参加者は一人ひとりがロールモデルとしての自覚をもっており、日本の若い参加者と積極的にコミュニケーションをとっていた。私自身も「プライオリティをつけ、時には昇進を我慢したこともある」「チャンスをつかむには先ず自分をインターナショナルのレベルまで（言語含め）引き上げ、能動的に調べ、動き、発信すること」など、経験を踏まえた温かく厳しいアドバイスを受けることができた
- 原子力に反対するのは女性が多いことは世界共通だが、原子力業界に女性エンジニアや女性コミュニティが少ないということが理由の一つとして挙げられていた。このことは、原子力業界で働く女性エンジニアとして求められる役割は何かを考えるきっかけとなった
- 所属する組織内で完結してしまう場合が多いが、これを機に国内外他組織とのコミュニケーションや社会との原子力コミュニケーションについても能力を伸ばす必要があると感じた
- 原子力の平和利用やジェンダーに問題意識のある方々の発言は深く心に響き、原子力コミュニケーションに女性の視点や福島事故の教訓を持ち込むことは有効だと確信が持てた
- 原子力の推進で最も必要なのは国民理解。この国民理解を進めるには女性の活躍が一番有効的。WiNには国民理解促進のために戦う組織となってもらいたい
- 会期中にセッション内容をタイムリーにSNS速報しており、それを各国WiNがリツイートや共有して拡散させていたところが素晴らしいと思った
- コロナ禍にもかかわらず、果敢に多く外国人の入国を受け入れたところは凄い
- スクリーンの使い方、ロゴマークやノベルティーのデザイン、徹底したペーパーレスなど洗練された運営であると感じた

5. 情報発信

- 電気新聞（5/25、5/27）にて大会の様子が記事化
- 原産新聞にてムイヨ会長インタビュー記事掲載予定
- 電気事業連合会「Enelog」にてムイヨ会長インタビュー掲載予定
- 日本原子力文化財団「原子力文化」にて小林実行委員長インタビュー掲載予定
- WiN-Japan SNS (Twitter, facebook, LinkedIn)にて大会の様様を速報
→ WiN-Globalおよび各チャプターの共有で世界へ拡散

WIN-Japan
@win_japan_org

午前中、WiN-Global General Assemblyが実施されました。昨年のWiN-Global活動が報告されたほか、新たなExecutiveメンバーが選出されました😊

#原子力

#WiNGlobalAnnualConference



リツイート済み



Jasmin Diab @jasmin_diab · 5月25日

Kei Shimogori from @IEEJ_Japan discusses the economic impact on reduction of nuclear power plants and impacts in achieving carbon neutrality by 2050 #WINConference2022 @WiNglobal @WIN_Australia @win_japan_org



リツイート済み



Women in Nuclear (WiN) - España @winspain · 5月26日

Hemos estado en la gala de la conferencia @WiNglobal 2022 en Tokyo, disfrutando de la cultura japonesa y sus impresionantes tradiciones, ¡como esos preciosos Kimonos!

¡Muchas gracias @win_japan_org 😊! Impresionante la organización, un 10.



WIN-Japan @win_japan_org · 5月30日

テクニカルツアーにおける最重要訪問先は福島第一原子力発電所です。1時間以上かけて構内を巡り、水素爆発が起きたプラントを間近に見ながらレクチャーを受けました。

#原子力

#WINconference2022



2022 ● JAPAN



29th Annual Conference

6. その他（大会の様子）



2022 WiN Global Annual Conference



6. その他（大会の様子）



6. その他（大会の様子）

